【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成18年6月15日(2006.6.15)

【公開番号】特開2000-226521(P2000-226521A)
【公開日】平成12年8月15日(2000.8.15)
【出願番号】特願平11-115677
【国際特許分類】
Ｃ０８Ｌ　83/04　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　3/36　(2006.01)
Ｃ０８Ｋ　5/14　(2006.01)
Ｈ０１Ｂ　3/28　(2006.01)
Ｈ０１Ｂ　3/46　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０８Ｌ　83/04
Ｃ０８Ｋ　3/36
Ｃ０８Ｋ　5/14
Ｈ０１Ｂ　3/28
Ｈ０１Ｂ　3/46　Ｈ

【手続補正書】
【提出日】平成18年4月20日(2006.4.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　Ｌ／Ｄ＝１０のバリアブルタイプのスクリューと、直径１．０ｍｍのダイスを取り付けた押出吐出機を用いて押出吐出したときに、バレルおよびヘッド部の温度が７０℃の条件下で、スクリュー回転数１００ｒｐｍでの１分間の押出吐出量が、スクリュー回転数５０ｒｐｍでの押出吐出量の１．２倍以上であることを特徴とする、電線被覆用シリコーンゴムベースコンパウンド。
【請求項２】　電線被覆用シリコーンゴムベースコンパウンドが下記組成からなるものである請求項１記載の電線被覆用シリコーンゴムベースコンパウンド。
（Ａ）（A-1）平均組成式：$R_aSiO_{(4-a)/2}$（式中、Ｒは置換または非置換の１価炭化水素基であり、ａは１．８～２．３の数である。）で示され、重量平均分子量が５５０，０００未満のオルガノポリシロキサン生ゴム　　２５～１００重量部と
（A-2）平均組成式：$R_aSiO_{(4-a)/2}$（式中、Ｒは置換または非置換の１価炭化水素基であり、ａは１．８～２．３の数である。）で示され、重量平均分子量が５５０，０００以上のオルガノポリシロキサン生ゴム　　０～７５重量部
とからなる、オルガノポリシロキサン生ゴム　　１００重量部
（Ｂ）ＢＥＴ法比表面積が１５０m^2/g以下の乾式法シリカ
１０～１００重量部
【請求項３】　請求項１記載の電線被覆用シリコーンゴムベースコンパウンド１００重量部に（Ｃ）炭素原子、水素原子、酸素原子からなるジアシル系有機過酸化物０．０５～１０重量部を配合してなる電線被覆用シリコーンゴム組成物。
【請求項４】　ジアシル系有機過酸化物が、メチル基置換ベンゾイルパーオキサイドまたはベンゾイルパーオキサイドである請求項３に記載の電線被覆用シリコーンゴム組成物。

【請求項５】　メチル基置換ベンゾイルパーオキサイドが、ビス(パラメチルベンゾイル)パーオキサイドまたはビス(オルソメチルベンゾイル)パーオキサイドである請求項４に記載の電線被覆用シリコーンゴム組成物。

【請求項６】　請求項３に記載の電線被覆用シリコーンゴム組成物を電線被覆用押出吐出機に投入し、芯線をシリコーンゴム組成物で被覆し、次いで、該シリコーンゴム組成物被覆電線を温度２００℃～６００℃に設定された加熱炉中に導入し、前記シリコーンゴム組成物を硬化させることを特徴とするシリコーンゴム被覆電線の製造方法。